

事業者行動計画書 ~~（変更計画書）~~

令和3年 7月 28日

（宛先）

滋賀県知事



提出者

住所 （法人にあっては、主たる事務所の所在地）

京都府長岡京市東神足2-1-1

氏名 （法人にあっては、名称および代表者の氏名）

三菱ロジスネクスト株式会社

代表取締役 久保 隆

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 ~~（第20条第3項 ・ 第20条第4項 ・ 第22条第1項 ・ 第22条第2項において準用する同条例第20条第4項）~~の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 ~~（変更）~~したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	三菱ロジスネクスト株式会社 代表取締役 久保 隆
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	京都府長岡京市東神足2-1-1

1 事業所の概要

事業所の名称	三菱ロジスネクスト株式会社 滋賀工場					
事業所の所在地	近江八幡市長光寺町578					
主たる事業	細分類番号	3	1	5	1	フォークリフトトラック・同部分品・附属品製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

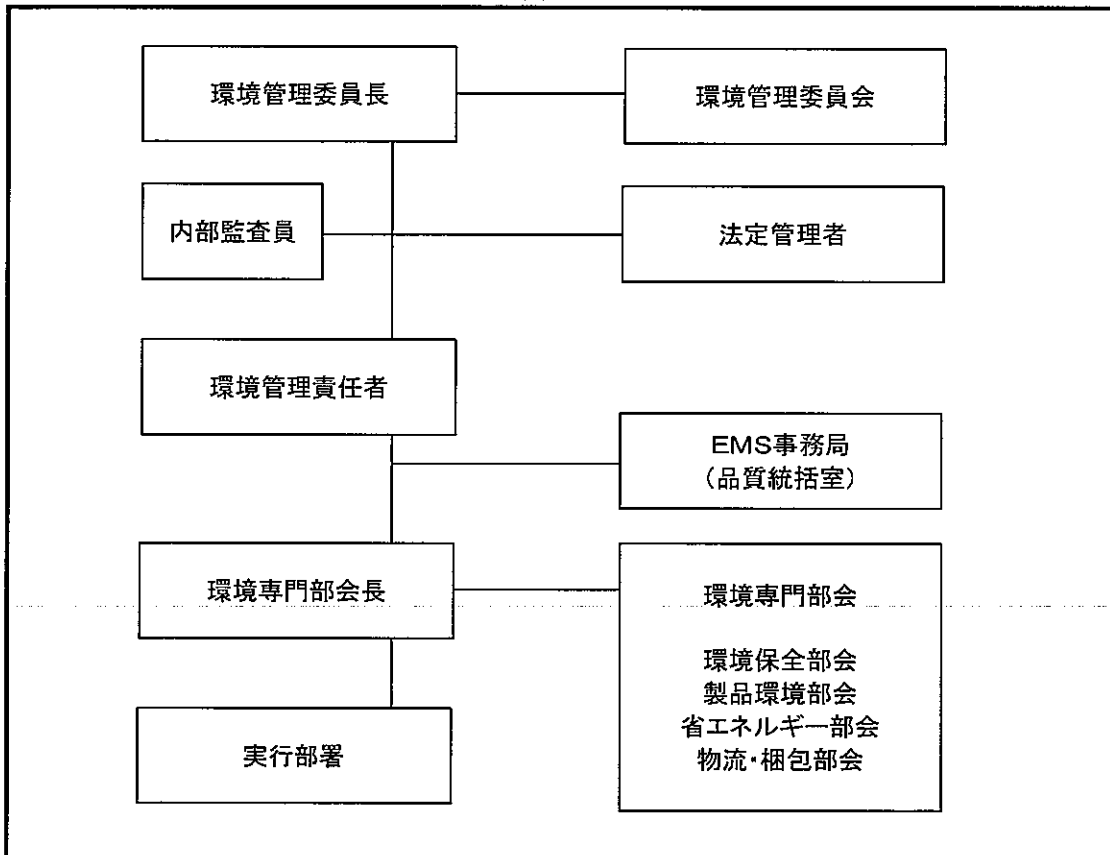
1 計画期間

計 画 期 間	2021 年度 ~	2023 年度
---------	-----------	---------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

<p><b>環境理念</b> 健全な企業活動を通じて、グローバルな視点で地球環境の保全に努め、地域社会の継続的な発展に貢献します</p> <p><b>環境方針</b> 三菱ロジスネクスト株式会社及びその関連会社は、環境理念にもとづき、フォークリフト等の産業車両、物流システム及び物流関連商品の開発・製造・販売・サービスを中心とした事業活動において、持続的な環境負荷の低減と社会の環境改善を目指して、次の環境方針にもとづき積極的に活動する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地球環境の保護と調和を経営の最重要課題のひとつとして位置づけ、社業を通じた環境保護への取り組みを継続的かつ計画的に進める。</li> <li>環境マネジメントシステムにもとづき、当社の事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、環境保護活動を推進するとともに、環境汚染の予防に努める。</li> <li>環境関連の法規、条例及び協定、当社が同意するその他の要求事項を順守し、自主基準を策定して環境保護に取り組む。</li> <li>当社の事業活動における環境影響を考慮して、以下を重点項目として取り組む。             <ol style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した製品づくりを行う。</li> <li>事業活動に伴う産業廃棄物の減量化、再資源化及び適正処理化を行う。</li> <li>原材料及び燃料・エネルギーの消費効率を高め、製造時の環境保護を図る。</li> <li>製品/部品の物流時における輸送効率の向上及び梱包資材の削減に努め、環境負荷を低減する。</li> </ol> </li> </ol> <p>この環境方針は、社内教育及び啓蒙活動を通じて全従業員及び全構内業者に周知するとともに一般にも開示する。</p> <p>上記、環境方針達成のために、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を設定するとともに定期的に見直し、環境パフォーマンス向上を目指して、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図る。</p>
--

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

2020年度目標と実績

三菱ロジスネクスト滋賀工場では、フォークリフトの設計開発・製造、物流システムの製造を行っている。

1. (目標)F棟コンプレッサ運転改善。排気ファン インバータ化。フレーム排気ファンの効率アップ。J棟コンプレッサのインバータ化台数制御。重油エンジンコンプレッサの電動化。エアー増圧器の高圧コンプレッサ化。  
(実績)売上高原単位で、2019年度比11%増加。
2. (目標)開発(モデル/マイナーチェンジ)車の製品使用時のCO2排出量を前モデル比5%削減。  
(実績)5%削減出来た機種と出来なかった機種がある。
3. (目標)物流ソリューション商品開発車のCO2排出量を前モデル比5%削減。  
(実績)2020年度開発車の削減量は±0%。
4. (目標)産業廃棄物量原単位を2017年度比3%改善する。  
(実績)2020年度実績で2017年度比27.6%増加。

(第3面)

5. 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	環境投資	第1組立工場用コンプレッサ購入(71.2t/年)	2021年8月
2	環境投資	マストブース排気ファンIVT化(4.6t/年)	2021年8月
3	環境投資	エアーホイスト電動化(3.5t/年)	2021年5月
4			
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

(単年度目標) CO <sub>2</sub> 排出量を2020年度比1%改善する。
(3ヵ年目標) 2023年度のCO <sub>2</sub> 排出量原単位を2020年度比で3%改善する。

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

1. フォークリフトおよび物流ソリューション商品の使用によるCO2削減貢献量の算出方法の標準を作成する。
2. 対象開発車の製品環境アセスメント(目標値および評価結果を確認)。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

(単年度目標)

1. 製品使用によるCO2削減貢献量の算出方法や基準を定める。
2. フォークリフト及び物流ソリューション商品開発車の製品使用によるCO2削減貢献量を算出する。

(3ヵ年目標)

製品使用によるCO2の削減貢献量の算出方法を定め情報開示を行う。

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1	産業廃棄物の減量化	2023年度の廃棄物排出量原単位を2020年度比で1%改善。	2021年度～ 2023年度
2	VOCの減量化	2023年度のVOC排出量原単位は、2020年度実績を上回らない。	2021年度～ 2023年度
3	環境啓発活動	環境啓発活動を積極的に行う。	2021年度～ 2023年度
4			
5			
6			
7			
8			